

# 令和8年度事業計画

## 1 基本的な考え方（事業方針）

### <1> 松江城を守り伝える機運醸成活動

- ①ふるさとの宝である松江城を市民の手で守り、後世に伝えていくために、本会の主旨を広く発信し、会員の輪を広げる
- ②松江城を守り伝えていく活動を通じて、松江城の世界遺産登録推進の機運づくりを行う
- ③松江城に関する既存活動団体の活動を支援し、ともに活動を行う

### <2> 松江城に関わる各団体のネットワーク化の促進

- ①既存活動団体の情報集約、フィードバックを行い、各団体の活動支援を行う
- ②既存活動団体間の情報共有を促進する
- ③松江城に関する情報及び各団体の活動について、積極的に発信する

なお、年度中途においても、会員及び既存活動団体からの提案について、可能な限り柔軟に対応できるようにする。

## 2 令和8年度実施事業

### <1> 松江城を守り伝える機運醸成活動

#### ①個人会員・賛助団体の募集及び守る会のPR活動

⇒個人会員・賛助団体の入会活動の促進

- ・昨年度の松江城天守国宝指定10周年・天守保存150周年記念事業の「特別版 お城 EXPO in 松江」において、多数の新規個人会員（175名）を獲得できたが、継続いただけるよう情報発信するとともに、継続会員の効果が見込まれる『限定御城印』などのグッズ作成を検討する。

また、地元企業等に賛助団体入会への呼びかけに取り組む。

- ・床磨きや関連団体のイベントでの募集チラシの配布や活動の周知に努める。

参考：関連団体のイベント

ICOFORT 国際松江会議 in 松江（実行委員会）、堀尾吉晴公銅像清掃（堀尾会）、国宝松江城から学ぶ環境学習会（まつえ環境市民会議）

⇒守る会のノベルティグッズの作成と会員（継続・新規）への配布

守る会ネーム入りグッズの作成・配布により守る会の認知度を高める

⇒守る会の活動と PR を SNS 等各種媒体での情報発信

松江城を守る会及び関係団体のイベント情報や開催内容などをホームページや松江市公式 LINE や国宝松江城課 X (旧ツイッター) などで広く情報発信し、活動の啓発に努める。

松江城（興雲閣、観光案内所）などに会報及び募集チラシを設置する。

## **②会報発行**

⇒年 1 回会報発行を行い、活動内容の情報発信により守る会の理解促進につなげる。

## **③小学生親子や市民による松江城の清掃活動【継続】**

⇒会員や市民が参加しやすい松江城天守の床磨きの開催

市民床磨きについては、開催時期の前倒しにより参加者の増を狙う。

- ・第 3 回国宝五城天守合同床磨き（第 6 回親子で国宝松江城天守床磨き）  
（夏休み期間）【募集 100 名、市内小学生 4～6 年生と家族】

※国宝五城天守合同床磨き（主催：松江市、国宝城郭都市観光協議会、松江城を守る会）に参加協力する。

- ・第 4 回市民で国宝松江城床磨き

（9 月下旬予定）【募集 80 名、小学生以上の市民等】

※昨年度に参加された企業や守る会の賛助団体にも参加を働きかけるとともに、広報・SNS 等を活用し夏休みの国宝五城床磨きに参加できなかった小学生を含め多くの市民等へ参加を呼び掛けていく。

## **④松江城天守大修理の寄附協力【新規】**

⇒松江城天守の令和の大修理に向けた寄附協力

令和 9 年度から大修理が始まることから、松江城を守る会の活動として寄附を呼びかけるとともに、守る会会費の一部寄附についても検討を行い、国宝天守の大修理に協力する。

- ・会費の納入依頼に合わせて天守大修理に係る寄附のお願いを行う。

ホームページや会報に寄附の方法（松江市のふるさと納税へのリンク、国宝

松江城課を經由する寄附等) を掲載する。

- ・ 守る会の予算執行状況を見ながら年度末の寄附額を検討する。

#### **⑤ 既存活動団体が実施する松江城に関する活動に対する支援、参加**

⇒共催予定事業

- ・ 堀尾吉晴公銅像清掃（松江城清掃活動）【堀尾会】 6月7日(日)
- ・ 国宝松江城から学ぶ環境学習会【まつえ環境市民会議】 10月予定
- ・ ICOFORT 国際松江会議 in 松江 記念シンポジウム【実行委員会】 11月8日(日)
- ・ 3 市市民交流会【近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会】 時期及び開催地：未定

### **<2> 松江城に関わる各団体のネットワーク化の促進**

#### **① 松江城に関する既存活動団体情報の収集**

⇒会員募集活動とあわせ、関係団体の情報収集に努め、連携につなげる。

#### **② 「国宝松江城 HP」内での松江城関係情報の発信**

⇒守る会の HP を通じて、関係団体のイベント情報を発信する。